



一日も早い東北の復興へ
全力で取り組んでいます

東日本大震災における UR都市機構の復興支援

女川町女川駅周辺



山田町織笠跡浜地区



塩竈市浦戸寒風沢地区



桑折町桑折駅前地区

——街に、ルネッサンス——



UR

UR都市機構

平成28年8月版

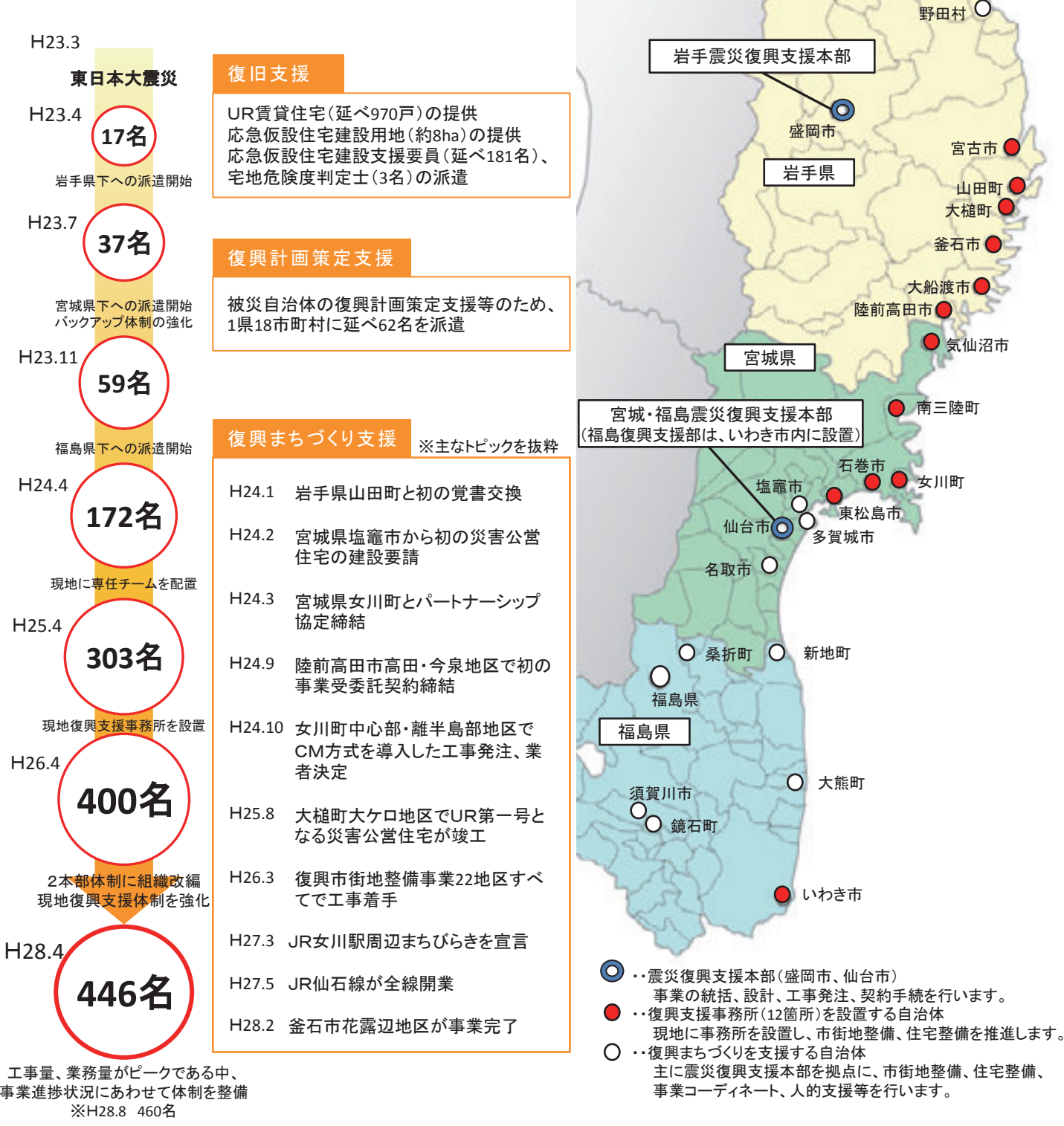


独立行政法人都市再生機構
(UR都市機構)
理事長 中島 正弘

東日本大震災復興支援と、さらに安全・安心なまちづくりを目指して

東日本大震災において被災された皆様に、心からお見舞いを申し上げます。
UR都市機構では、住宅・まちづくりの実績・ノウハウやその技術力を活用し、発災直後から復旧・復興活動のため被災自治体へ職員を派遣し、平成24年からは復興市街地整備や災害公営住宅建設など復興まちづくり支援に取り組んでいます。
発災から5年が経過し、道路や鉄道用地のインフラ整備に伴い、駅や商業施設の開業、高台住宅地の完成、災害公営住宅の入居が始まり、まちの骨格が出来つつあります。平成28年度からの「復興・創生期間」という新しいステージにおいては、当機構としても「まちに人が戻る」ことを目指して、中心市街地の再生やコミュニティ形成の支援などにも積極的に取り組み、「新しい東北」創造のための一翼を担いたいと考えています。
被災された皆様が一日でも早く安心した生活を送れるよう、安全管理、品質管理に努めつつ、全力をあげて復興支援に取り組み、より安全・安心なまちづくりに貢献していきます。

UR都市機構は、現地450名体制で復興支援に取り組んでいます。



UR都市機構の復興まちづくり支援地区

自治体	市街地整備事業			災害公営住宅建設		コーディネート等
	事業受託地区	計画面積	事業期間(年度) ※清算期間除く	要請地区 (下線は完成地区※一部完成地区含む)	計画戸数	
岩手県	野田村					土地区画整理事業 コーディネート(城内)
	宮古市	田老 24ha	H24~28			
	山田町	大沢 19ha	H24~28	大浦(大浦第1)、大浦(大浦第2)、山田(山田中央)、	233戸	
		山田 56ha	H24~30	織笠(織笠跡浜)、		
		織笠 13ha	H24~28	大沢小学校脇、下条		
	大槌町	町方 40ha	H24~29	大ケロ、屋敷前、大ケロ二丁目、 <u>柁内</u> 、町方(末広町)、 寺野、町方(御社地)、町方(本町1・上町)	243戸	工事発注支援 (浪板等5地区)
	釜石市	片岸 23ha	H24~30	花露辺、鶴住居、片岸	152戸	
	鶴住居 60ha	H24~30				
	花露辺 2ha	H24~27				
大船渡市	大船渡駅周辺 36ha	H25~31	宇津野沢、赤沢、上山、平林、川原、 <u>蛸ノ浦</u> 、 <u>所通東</u> 、 山口、川原その2、泊里、後ノ入、大洞、杉下、崎浜	227戸		
陸前高田市	今泉 112ha	H24~30	下和野、水上、大野、田端、長部、今泉	269戸		
	高田 186ha	H24~30				
宮城県	気仙沼市	鹿折 42ha	H24~29	南郷、四反田、鹿折、南気仙沼、気仙沼駅前	1,033戸	工事発注支援 (漁業集落防災機能強化事業19地区等)
		南気仙沼 33ha	H24~29			
	南三陸町	志津川 111ha	H24~30	入谷桜沢、歌津名足、志津川東(第1)、 志津川東(第2)、志津川中央	432戸	
	女川町	中心部 218ha	H24~30	女川町民陸上競技場跡地、女川駅北、 <u>ずい道</u> 、	561戸	戸建災害公営住宅買取事業 を技術支援
		離半島部 54ha	H24~29	荒立・大道①、荒立・大道③、西区		
	石巻市	新門脇 24ha	H25~29	大街道西二丁目、泉町四丁目、 <u>大街道北二丁目</u> 、 中央一丁目、 <u>駅前北通り一丁目</u> 、 <u>中里一丁目</u> 、 不動町二丁目、中央一丁目南、門脇	436戸	・工事発注支援 (半島部46地区) ・事業推進技術支援 (市街地部) ・市街地整備事業の検討
	東松島市	野蒜北部丘陵 92ha	H24~28	東矢本駅北、野蒜北部丘陵	477戸	
	東矢本駅北 28ha	H24~28				
塩竈市			伊保石、錦町、浦戸桂島、浦戸野々島、浦戸寒風沢、 浦戸朴島、清水沢、錦町東	355戸		
多賀城市			桜木、鶴ヶ谷、新田、宮内	532戸		
名取市			下増田、高柳辻	100戸		
福島県	福島県			内郷宮町、小名浜大原、泉町本谷、北好間中川原、 勿来酒井	753戸	
	新地町			愛宕東	30戸	
	桑折町			桑折駅前	47戸	
	大熊町					事業計画策定支援 (大川原)
	須賀川市					市街地再開発事業支援 (須賀川市八幡町)
	鏡石町					復興まちづくり事業計画策定
	いわき市	薄磯 37ha	H24~29			
	豊間 56ha	H24~30				
22自治体	計22地区	約1,300ha		計85地区	5,880戸	(H28.8.1時点)

復興市街地整備事業 —被災自治体からの委託により、URが安全な市街地を整備します—

土地区画整理事業、防災集団移転促進事業等により、被災した市街地の嵩上げや高台に住宅地の整備を行います。



災害公営住宅整備事業 —被災自治体からの要請により、URが住宅を建設し、完成後譲渡します—

被災により住まいを失われた方、原子力災害により避難を余儀なくされている方のための公営住宅を整備します。



復興市街地整備事業事例紹介

宮城県女川町 中心部地区(218ha)

高台の造成により、浸水しない安全な住宅地を整備するとともに、既存の住宅地の近傍でも安全に居住できるエリアとして、盛土による住宅地の整備も行います。低地部は、商業・業務、観光業、水産業用地として活用します。



女川駅開業 平成27年3月



駅前商業エリア開業式 平成27年12月

岩手県宮古市 田老地区(45ha)

従前のコミュニティに配慮しつつ高台移転を行うとともに、振替えを行う国道45号から山側で高上げ市街地を整備してきました。平成27年度末までに全地権者へ宅地の引渡しが完了しました。



まぢびらき記念式 平成27年11月



高台住宅地の状況 平成28年4月



宮城県南三陸町 入谷桜沢地区



配置図



3DKプラン

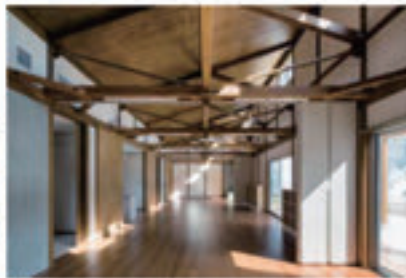


R C造3階建 42戸
(集会所：木造平屋)
平成26年7月竣工

- 地域の防災拠点整備
集会所内等に防災倉庫の設置や、広場に、炊き出しができる場所や防災ベンチをつくりました。
- 高齢者・子育て層の安心居住
車が進入しない中庭をつくり、広場周りにコミュニティーベンチを配置しました。
- 地域に根ざした住宅建設
地域と公営住宅をつなぐ集会所や通り土間を介して玄関ポーチとバルコニーがつながる住宅をつくりました。
- 平成27年にグッドデザイン賞を受賞



A棟南側中庭/防災ベンチ(右端)



集会所



岩手県大槌町・町方末広町地区53戸(H28.3完成)



宮城県塩竈市・浦戸桂島地区13戸(H27.2(8戸), H27.12(5戸)完成)



福島県桑折町・桑折駅前地区47戸(H27.5完成)

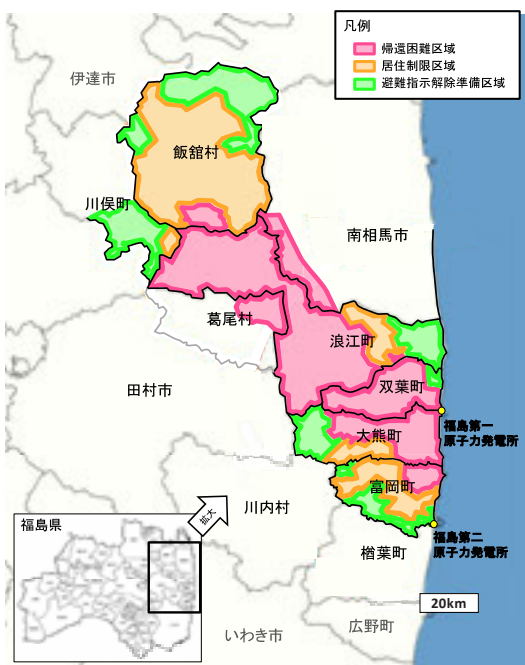
福島県の避難区域等における復興支援

○復興市街地整備事業

- 大熊町と平成26年3月に「東日本大震災及び原子力災害からの復興まちづくりの推進に向けた覚書」を交換し、大熊町が行う復興まちづくりについて相互協力を確認
- 町が平成26年3月31日に策定した「大熊町復興まちづくりビジョン」の中で町土復興・再生の第一ステップとして復興拠点に位置づけられた大川原地区について、6月に「東日本大震災及び原子力災害からの復興まちづくりの推進に関する基本計画検討に係る協定書」を締結し、基本計画検討を協力して推進しています。(H26.9受委託契約を締結)

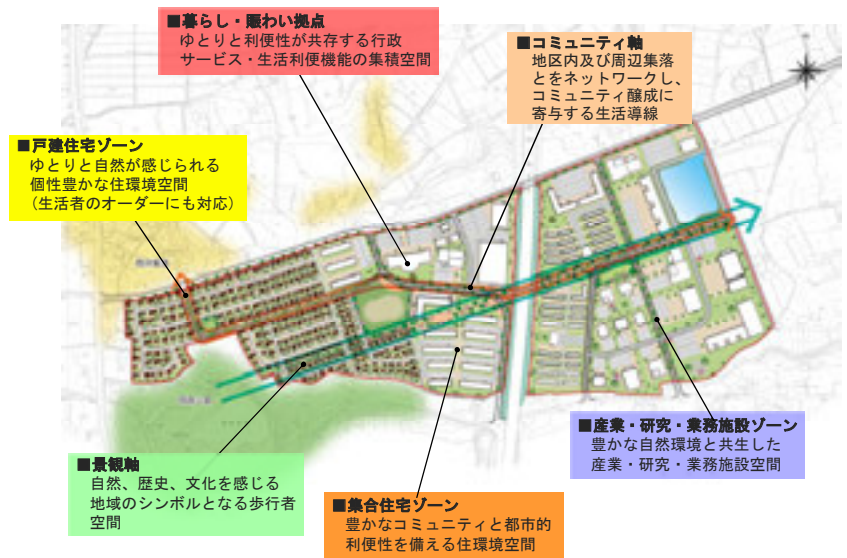
避難指示区域の概念図

平成28年7月12日時点



(経済産業省ウェブサイトより)
<http://www.meti.go.jp/earthquake/nuclear/kinkyu.htm>

大熊町復興拠点(大川原地区) 整備イメージ図



○原子力災害に伴う避難者向け復興公営住宅の整備



地図使用承認©昭文社第56G107号

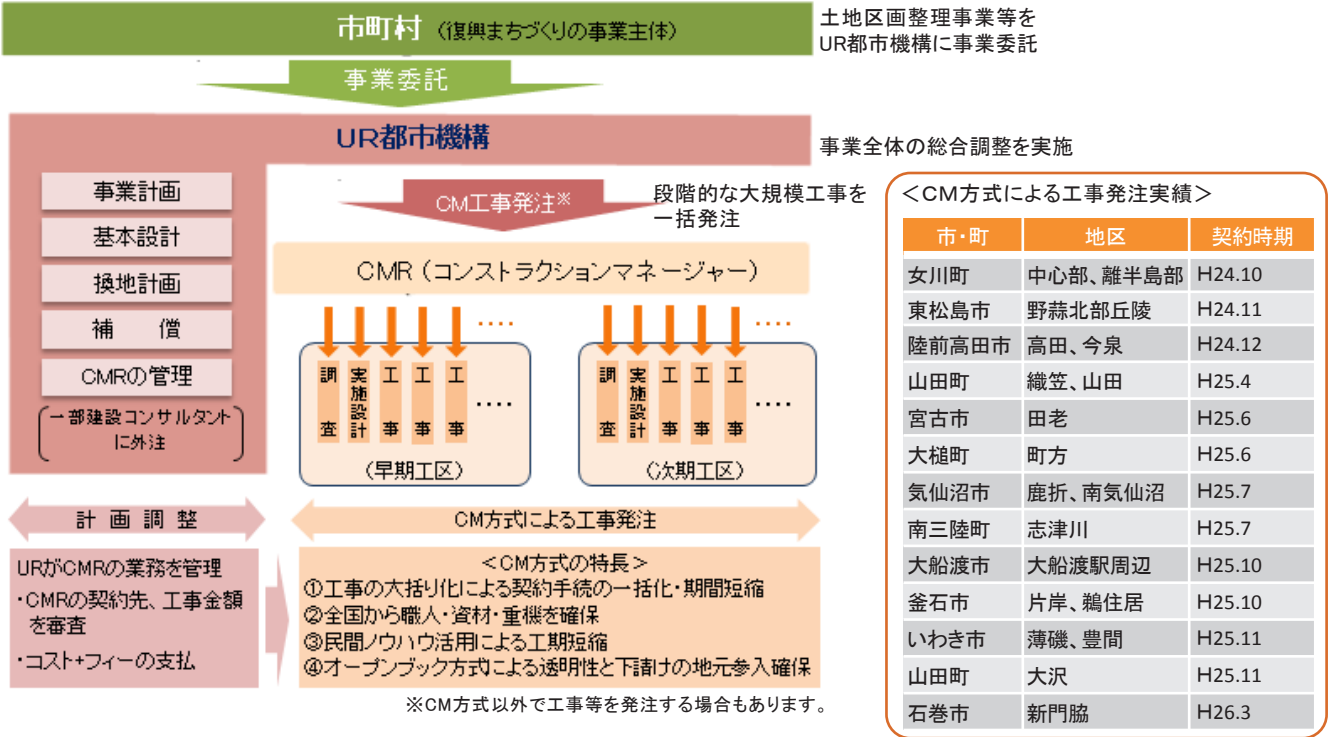
- 福島県と災害公営住宅整備に係る協定締結(H25.11.26)
- 福島県がいわき市に整備する復興公営住宅1,768戸のうち、約800戸について、URが建設予定

内郷宮町地区72戸(H28.5完成)



CM(コンストラクション・マネジメント)方式による復興の加速化

民間ノウハウを活用し、効率的でスピーディーな復興事業を推進するため、段階的な工事を大括り化し、設計・施工・マネジメントをまとめて発注するシステム(CM方式)をURが先導的に導入しています。



CM方式の活用事例～宮城県東松島市・野蒜北部丘陵地区(92ha)～



野蒜北部丘陵地区では、仙石線の早期復旧及び集団移転先となる高台宅地の早期完成を目標として、CM方式を活用した基盤整備を進めています。目標達成のためには、高台で発生する大量の土砂をいかに迅速に搬出するかが課題でしたが、URとCMRが相互に連携し、ベルトコンベアを活用して短期間で土砂搬出を完了しました。目標通り、平成27年5月30日には仙石線が全線再開し、平成28年5月28日から移転者の方へ宅地の引渡しが始まっています。



ベルトコンベア(現在撤去済み)



H27.5に開業した野蒜駅



H28.6時点 東名駅周辺

復興まちづくりコーディネート業務の実施

被災自治体からの委託により、URはまちづくりの実績や技術力を活かし、復興まちづくり事業計画策定業務、工事発注支援業務等を実施しています。

○市街地再開発事業支援業務(福島県須賀川市)

■市庁舎の再建と防災拠点の形成を目指す市街地再開発事業支援業務をURが受託

○復興まちづくり総合支援業務(岩手県野田村・城内地区)

■村から復興市街地整備事業(城内地区土地区画整理事業)のコーディネート業務をURが受託。職員2名を派遣

■復興庁・県等関係機関との調整、住民への事業説明会、区画整理審議会運営等をURが中心となって実施

○発注者支援業務

被災自治体の工事発注支援(岩手県大槌町、宮城県気仙沼市、宮城県石巻市)

■被災自治体が発注する複数地区の復興工事を大括り化し、特に技術力と中立性を要するCM方式による工事発注業務(工事費積算、発注関連図書作成、提案審査等)をURが受託

■工事発注後の管理CMRの指導等、URが定期的にフォローアップ

事業推進技術支援(宮城県石巻市)

■市内で行われる復興関連工事の事業間調整業務をURが受託

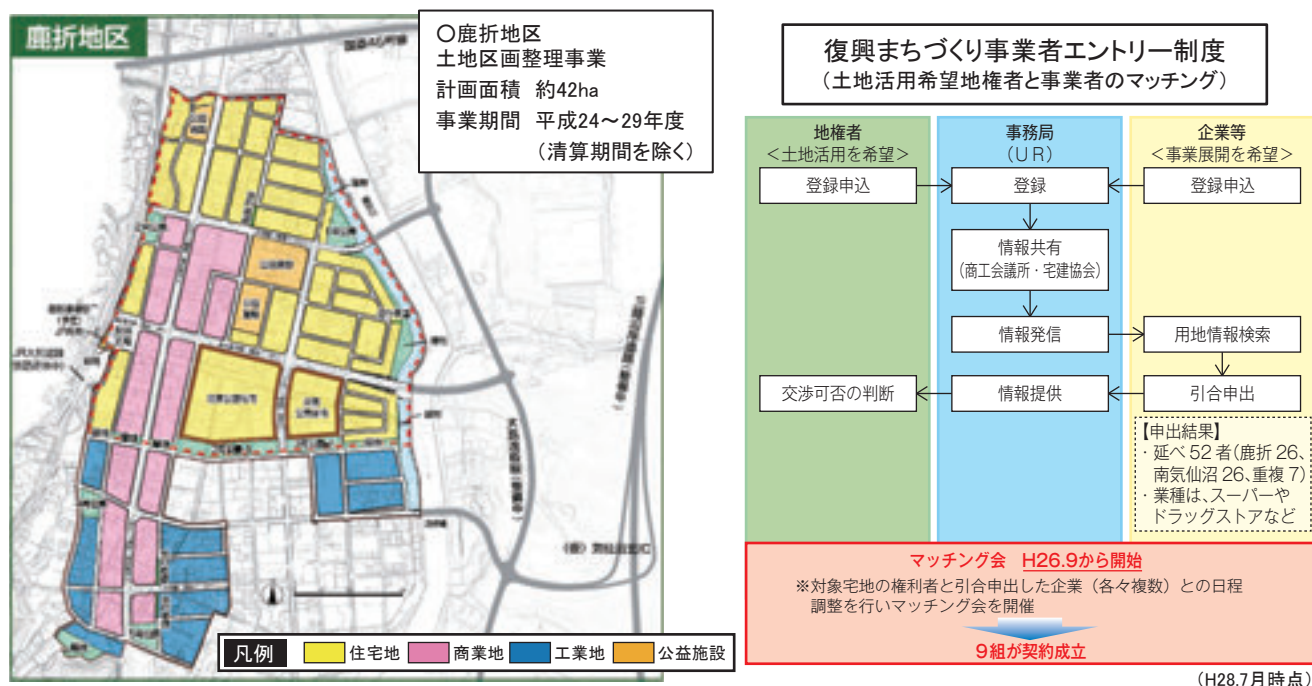
○災害公営住宅買取業務技術支援(宮城県女川町)

■買取事業スキーム作成、住宅基本計画検討、設計図書・事業費・工事進捗確認等の技術支援業務をURが受託

被災された方々の生業や生活の再建に向けて

○商業・産業誘致の取組(宮城県気仙沼市・鹿折地区・南気仙沼地区)

気仙沼市・UR・商工会議所・宅地建物取引業協会が共同で地区内の土地活用希望の地権者と進出企業を募集し、マッチングを行います。平成26年9月からマッチング会が始動しています。



○地域と入居者をつなぐ取組（宮城県多賀城市・桜木地区）

- ・地域住民の一時的な避難場所としての津波避難ビルの機能も持たせ、生活相談員が常駐する高齢者生活相談所や子育て支援施設を併設しました。
- ・入居者交流の場として各住棟の2階にはコミュニティデッキに面して「みんなのリビング」という交流スペースを設け、かつ地域との交流の場として、集会所を設置しています。
- ・地域と入居者等をつなぐきっかけづくりとして「みんなの壁」プロジェクトを立ち上げ、震災当時、隣接する桜木保育所に入所していた児童を中心にタイルを使用した壁画制作を行いました。



○入居者コミュニティ形成支援の取組（集会所の活用）（岩手県大船渡市 平林他3地区）

今まで培ってきた賃貸住宅のノウハウをもとに、入居者の自治組織の立ち上げや集会所等の利用促進、自立的なコミュニティ形成に向け、岩手大学コミュニティ再建支援の専門家に連携をよびかけ、市や自治会のサポートをしました。

入居後、数か月間あまり活用されていなかった集会所を利用し、各地区において住人の方の初顔合わせ、懇親会を実施



その結果、住民のコミュニティが形成、住民主体による書道教室、花植えイベント、お茶っこ(お茶会)等の活動が行われました。



初顔合わせの様子

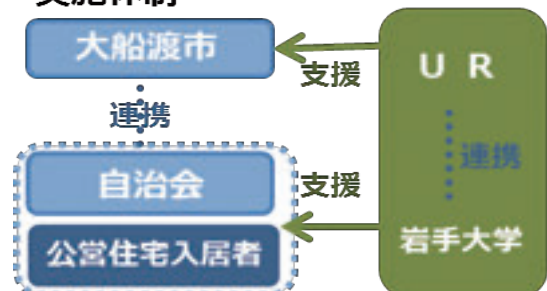


地図使用承認・昭文社第566107号



平林地区

実施体制



被災地の復興状況等の発信

○東日本大震災復興フォト&スケッチ展の開催

復興への歩みを広く発信し、東日本大震災からの復興を支援するため、復興に関する写真・スケッチの公募展を2014年から開催しています。

2度目の開催となったフォト&スケッチ展2015においては、フォト・スケッチあわせて、275点の応募があり、受賞作を中心とした作品の一部について、東京都、岩手県、宮城県及び福島県の会場にて作品展を実施し、工事の様子や被災地に暮らす方々の日常風景などの作品を通して、多くの方々に復興の現状をお伝えしました。

【昨年度の受賞作品】



～復興の歩み大賞（フォト）～
『復興への戦い』



～復興の歩み大賞（スケッチ）～
『静かな夕暮れとそこにある生活』

◆お知らせ◆

復興フォト&スケッチ展 2016 『復興の歩み～つなぐ みんなの想い～』
をテーマに平成28年8月31日まで作品の募集を行っております。
皆様が復興を感じた場面をお寄せください。



詳細については<http://www.ur-net.go.jp/fukkou-photosketch/contest2016/index.html>をご覧ください。

お問い合わせ

独立行政法人都市再生機構（UR都市機構）

（本社）震災復興支援室

〒231-8315

神奈川県横浜市中区本町6-50-1

横浜アイランドタワー8階

TEL:045-650-0876 FAX:045-650-0366

（宮城・福島）宮城・福島震災復興支援本部

〒983-0852

宮城県仙台市宮城野区榴岡4-6-1

東武仙台第1ビル7階

TEL:022-355-4531 FAX:022-291-8891

（岩手）岩手震災復興支援本部

〒020-0021

岩手県盛岡市中央通1-7-25

朝日生命盛岡中央通ビル8階

TEL:019-604-3066 FAX:019-604-3028